

財務の概要

(1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	37,098	36,677	421
手数料収入	2,895	2,997	△ 102
寄付金収入	381	518	△ 137
補助金収入	4,095	4,445	△ 349
資産運用収入	773	948	△ 175
資産売却収入	0	1,636	△ 1,636
事業収入	258	339	△ 81
雑収入	828	1,007	△ 179
借入金等収入	5,501	4,500	1,001
前受金収入	6,666	7,032	△ 367
その他の収入	1,744	2,370	△ 627
資金収入調整勘定	△ 7,471	△ 7,532	61
当年度資金収入合計	52,768	54,938	△ 2,170
前年度繰越支払資金	12,186	21,817	
収入の部合計	64,954	76,754	△ 11,801

大学の2008年度新入生が見込みを267名(通教除く)下回りました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

有価証券を売却資金化し、2009年度に市場環境を捉え新たな運用へ投下します。

建設事業の執行状況を勘案し、借入金金を減額しました。

2009年度大学の入学手続者が見込みを上回りました。

退職給与引当特定資産からの繰入収入が退職者の増により見込みを上回りました。

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	24,746	23,243	1,503
教育研究経費支出	11,720	11,359	361
管理経費支出	1,737	1,737	0
借入金等利息支出	170	94	76
借入金等返済支出	4,538	4,538	0
施設関係支出	8,637	7,421	1,216
設備関係支出	3,177	2,408	769
資産運用支出	6,416	7,496	△ 1,080
その他の支出	1,005	810	195
[予備費]	(144) 856	—	856
資金支出調整勘定	△ 1,615	△ 1,789	174
当年度資金支出合計	61,386	57,317	4,069
次年度繰越支払資金	3,567	19,437	△ 15,870
支出の部合計	64,954	76,754	△ 11,801

学内年金資産への繰入が当初計画を下回りました。

小金井キャンパス再開発第2期工事(2期-1)に伴う施設撤去費の執行が減となったことなどにより、見込みを下回りました。

スポーツ健康学部棟や多摩長期修繕などの建設事業が見込みを下回りました。

小金井キャンパス再開発第2期工事(2期-1)に伴う備品購入事業が見込みを下回りました。

L・U募金受入に伴う各引当特定資産への繰入を行ったことなどにより、

()内は予備費使用額であり、必要となる各科目の予算額に追加されています。

当年度資金収支差額	△ 8,618	△ 2,379	△ 6,239
-----------	---------	---------	---------

(注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

		予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異
(A)	総額	37,098		36,677		421
	(△) 教育充実費	△ 7,781		△ 7,716		△ 65
	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	29,317	76.4%	28,962	74.5%	356
	手 数 料 収 入	2,895	7.5%	2,997	7.7%	△ 102
	総額	381		518		△ 137
	(△) 特定資金のための寄付金	△ 113		△ 235		122
	寄 付 金 収 入	269	0.7%	283	0.7%	△ 15
	総額	4,095		4,445		△ 349
	(△) 研究設備補助金他	△ 85		△ 92		7
	補 助 金 収 入	4,010	10.5%	4,353	11.2%	△ 342
	資 産 運 用 収 入	773	2.0%	948	2.4%	△ 175
	事 業 収 入	258	0.7%	339	0.9%	△ 81
雑 収 入	828	2.2%	1,007	2.6%	△ 179	
計	38,350	100.0%	38,888	100.0%	△ 538	
(B)	総額	24,746		23,243		1,503
	(△) 退職金支出	△ 1,059		△ 1,340		281
	退 職 資 産 へ の 繰 入 支 出	1,714		1,714		0
	人 件 費 支 出	25,401	66.2%	23,617	60.7%	1,785
	総額	11,720		11,359		361
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 963		△ 1,080		117
	教 育 研 究 経 費 支 出	10,757	28.0%	10,279	26.4%	478
	総額	1,737		1,737		0
	(△) 建設事業に係わる経費	△ 7		△ 58		51
	管 理 経 費 支 出	1,730	4.5%	1,678	4.3%	51
借 入 金 等 利 息 支 出	170	0.4%	94	0.2%	76	
計	38,058	99.2%	35,668	91.7%	2,390	
(C)	(A - B) 経常的収支差額	292	0.8%	3,220	8.3%	△ 2,928

(注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支に関する部分を抽出して作成したものです。

学生生徒等納付金収入は見込みを下回りましたが、補助金収入が見込みを上回ったこと、人件費支出および教育研究経費支出が見込みを下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を2,928百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収支差額比率（経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率）は8.3%と、予算を7.5ポイント上回りました。

(2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	37,098	36,677	421
手数料	2,895	2,997	△ 102
寄付金	381	554	△ 172
補助金	4,095	4,445	△ 349
資産運用収入	773	950	△ 176
事業収入	258	339	△ 81
雑収入	828	1,007	△ 179
帰属収入合計	46,329	46,968	△ 639
基本金組入額合計	△ 8,690	△ 7,391	△ 1,299
消費収入の部合計	37,638	39,577	△ 1,939

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	23,940	22,846	1,094
教育研究経費	15,802	15,415	387
(内減価償却額)	(4,082)	(4,049)	(32)
管理経費	1,891	2,010	△ 119
(内減価償却額)	(299)	(274)	(25)
借入金等利息	170	94	76
資産処分差額	445	2,312	△ 1,868
徴収不能額	0	1	△ 1
消費支出の部合計	42,248	42,678	△ 431

帰属収支差額	4,081	4,290	△ 209
帰属収支差額比率	8.8%	9.1%	—
当年度消費支出超過額	4,609	3,101	
前年度繰越消費支出超過額	23,891	18,467	
翌年度繰越消費支出超過額	28,501	21,569	

時価が大幅に下落したことによる保有有価証券の評価替えなどにより増加しました。

【有価証券処分差額および有価証券評価差額】
(単位：百万円)

主に売却に伴う損失額 (有価証券処分差額)	134
時価が取得価格より概ね 50%以上下落した有価証券 で評価替えを行ったもの(実 損失は発生していません) (有価証券評価差額)	1,621
合計	1,755

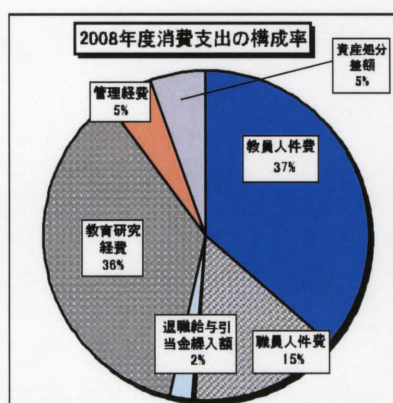
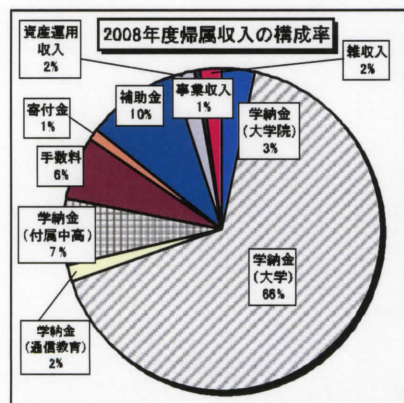
12ページ「本学の資金運用について」
をご参照ください。

(注1)

帰属収支差額＝帰属収入－消費支出

(注2)

帰属収支差額比率＝帰属収支差額÷帰属収入×100



(3) 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	168,280	160,352	7,929
	有形固定資産	128,053	123,071	4,982
	その他の固定資産	40,227	37,281	2,946
	流動資産	25,463	28,087	△ 2,624
	合 計	193,743	188,439	5,304

(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	16,242	14,537	1,704
	流動負債	11,820	12,510	△ 690
	計	28,062	27,047	1,015
	基本金	187,250	179,859	7,391
	消費収支差額	△ 21,569	△ 18,467	△ 3,101
	合 計	193,743	188,439	5,304

(参考)

正 味 資 産	165,681	161,392	4,290
---------	---------	---------	-------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

減価償却額の累計額	60,997	58,418	2,579
基本金未組入額	11,999	11,047	952

[貸借対照表注記事項] (抜粋)

(1) 有価証券の時価情報

(単位：百万円)

貸借対照表計上額	時価	差額
44,373	43,324	△ 1,049

(2) 学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社

a. 株式会社エイチ・ユー

<事業内容>

・書籍・文具・事務機器等の販売 ・建物内外の清掃・保守管理・警備 ・印刷業 ・一般及び特定労働者派遣事業 ・有料職業紹介業 ・一般土木建築工事業 など

(3) 本学の学内年金決算における年金財政貸借対照表

年金財政貸借対照表

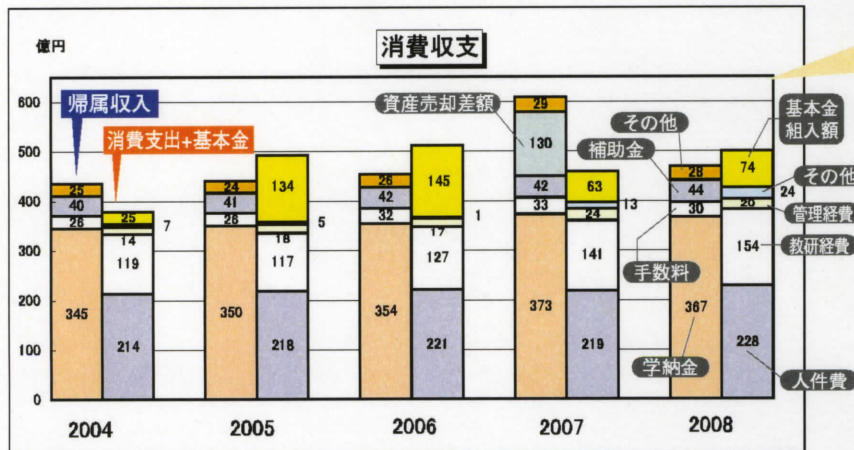
2008年7月31日

(単位：百万円)

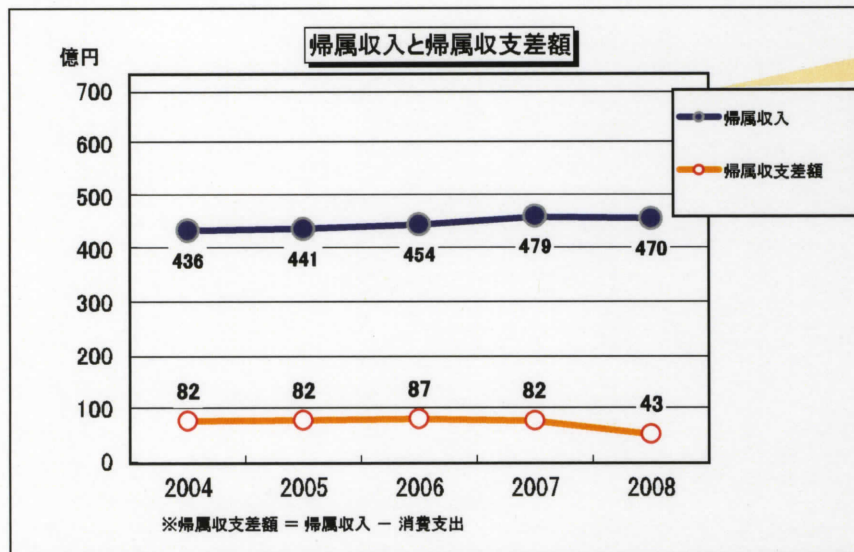
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
年金信託受益権	15,963	支払備金	0
未収掛金	0	責任準備金	26,963
過去勤務債務等の現在額	11,001		
合 計	26,963	合 計	26,963

過去5年間の推移

消費収支の推移

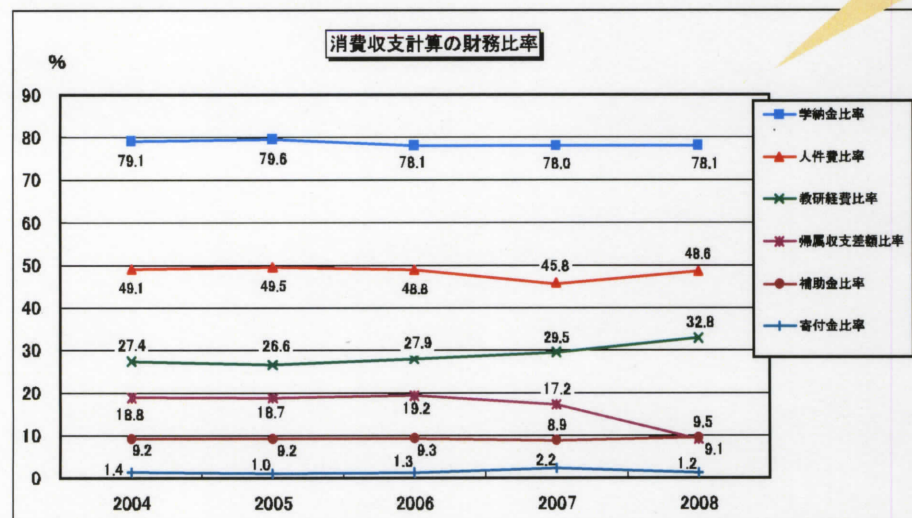


資産売却差額の減（2007年度は中学高等学校の旧校地売却を実施）などにより帰属収入が減少しました。また、多摩キャンパス18号館（スポーツ健康学部棟）改修工事相当額、備品購入事業相当額、奨学基金繰入額などを基本金に組み入れました。



教学改革に伴う教研経費の増、有価証券評価差額の増などにより帰属収支差額は大幅に減少しました。

(注) 2007年度決算については、帰属収入から土地売却差額を除いている。

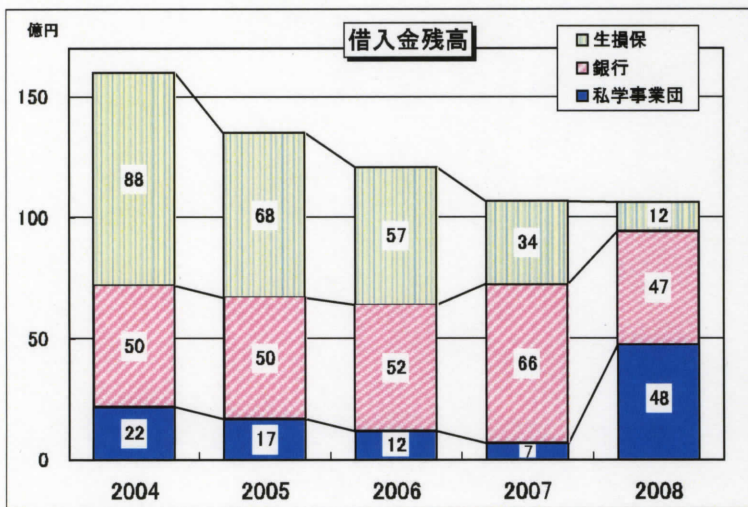
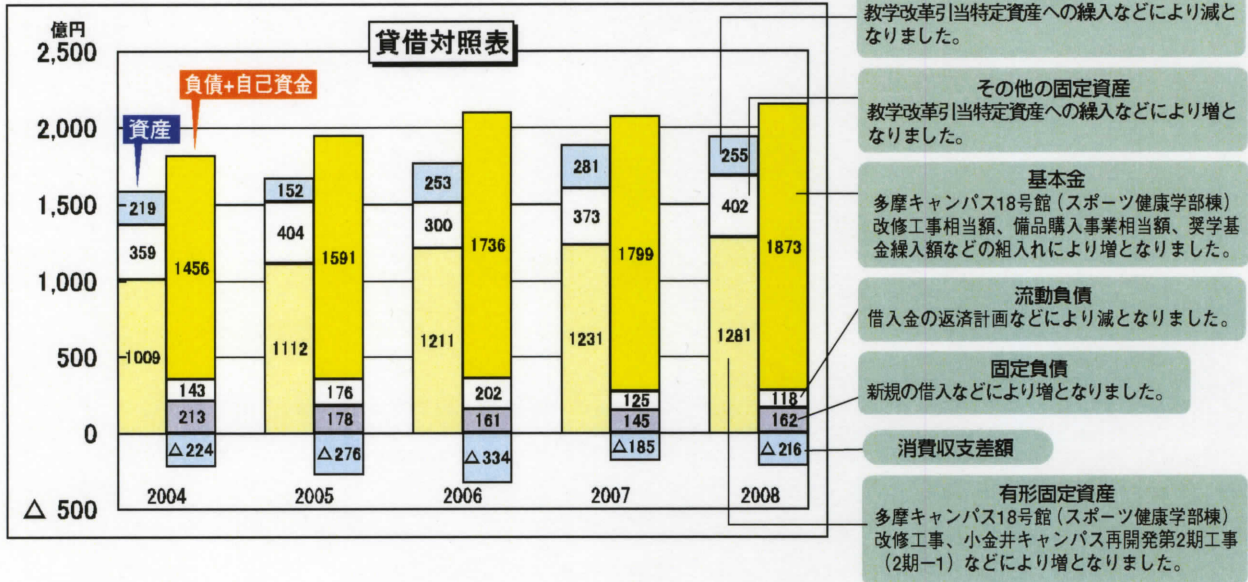


教学改革に伴う教研経費の増および有価証券評価差額の増などの影響により帰属収支差額比率は9.1%となり、本学が目標としている10%を下回りました。2008年度決算でははじめて有価証券の時価下落に伴う評価替え(1,621百万円)を計上しました。その影響を除くと、帰属収支差額比率は12.6%でした。

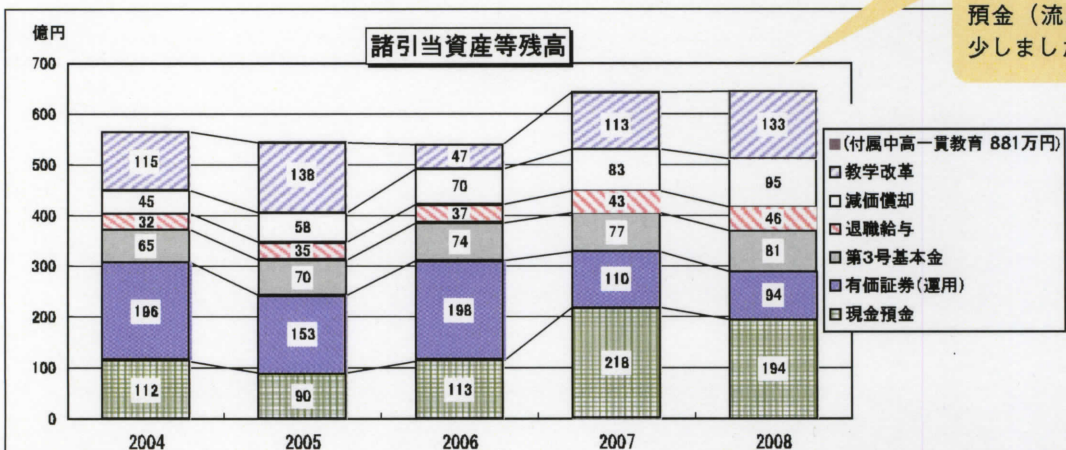
(注1) 比率は、各々の帰属収入に対する割合を示している。

(注2) 2007年度決算については、帰属収入から土地売却差額を除いている。

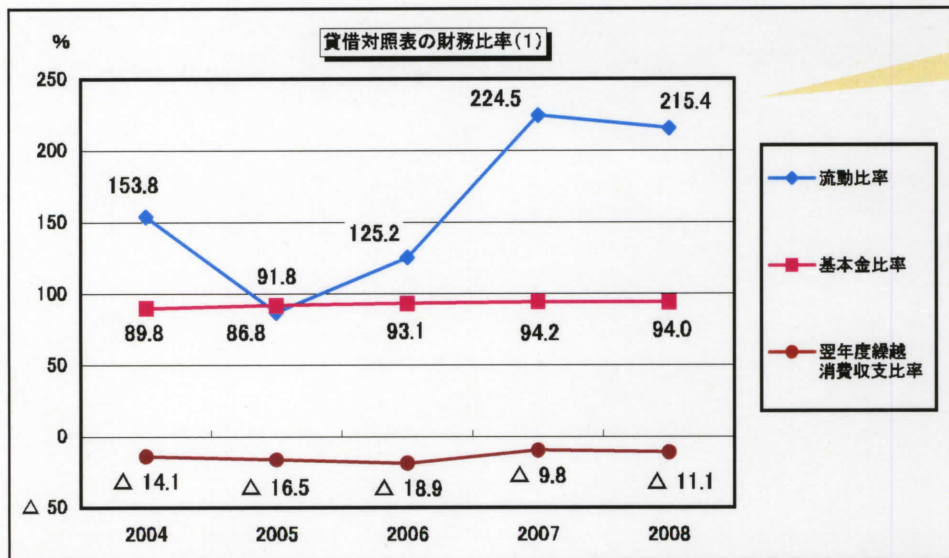
貸借対照表の推移



2008年度については、新規の借入額と返済額がほぼ同額であったため、借入金全体でも残高が2007年度とほぼ同額となりました。

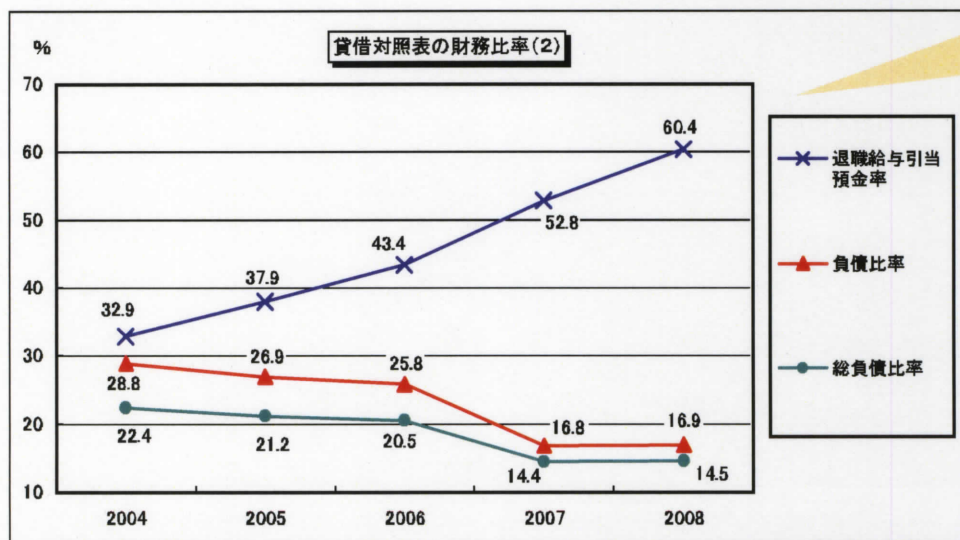


教学改革、減価償却など各引当特定資産の充実を目指し繰入を行ったことなどにより現金預金(流動資産)は減少しました。



金融・経済状況不安を勘案し、再投資を控えたため、期末での現金預金の保有額が多額となりました。よって、流動比率は高い水準となりました。

(注) 流動比率：短期的な負債の償還に対する流動資産の割合で、支払能力を示す指標
 基本金比率：100%に近いほど基本金の未組入額が少ないことを示す
 翌年度繰越消費収支比率：翌年度繰越消費収支差額の総資金に占める割合



退職給与引当預金率は一貫して充実を図っています。

(注) 退職給与引当預金率：退職給与引当金に見合う資産を、どの程度保有しているかを示す指標
 本学の退職給与引当金の計上額の目標は、退職金要支給額の50%としている
 負債比率：他人資金が自己資金を上回っていないかを示す指標
 総負債比率：負債総額の総資産に対する割合で、50%を超えると負債が自己資金を超過していることを示す